

ある儒者の明治維新

いなん ——武富圯南の晩年を追う

知らないうちに、拡めちゃうから。



STOP!
感染拡大
— COVID-19 —

聴講を御希望の方は事前にお申込みをお願いします。

お申込み **10月1日**～(先着順)

定員 64名

- ・ホームページ
- ・電話 0952-41-7550
- ・館内受付カウンター

御予約の際、氏名・住所(市町)・電話番号を必ずお聞きます。
個人情報(講演会関連の御連絡、コロナウイルス対応以外での使用はございません)。

武富圯南(1808～1875)はおよそ25年間にわたって佐賀藩の藩校・弘道館で教鞭を執り、多くの若者たちを教育した。その学識は鍋島直正をして「文之助(圯南の通称)が学問の十が一あらしめば、まさに起って天下に横行すべし」と敬服させたほどであった。明治8年に亡くなった圯南は、短い間であるが維新後の時代を生きた。圯南の晩年の足跡をたどり、一人の儒者が明治という時代にどのように向き合ったかを明らかにする。



武富圯南「遺懐処写所見」「桃源図巻」(本館蔵)



武富圯南墓(佐賀市・称念寺)

日時 令和2年10月31日(土) 13時30分～15時(開場13時)
会場 佐賀県立佐賀城本丸歴史館 外御書院
講師 芳野貴典(本館学芸員)

